

通訳案内士就業実態等調査の結果

国土交通省 観光庁

観光資源課

平成21年6月

1. 調査の目的

通訳案内士は各都道府県に登録する個人事業主であるため、通訳案内士の就業実態等について、これまで十分な調査が行われてこなかった。本調査においては、通訳案内士の就業実態を明らかにすることにより、今後の制度運用を充実させることを目的とする。

2. 調査概要

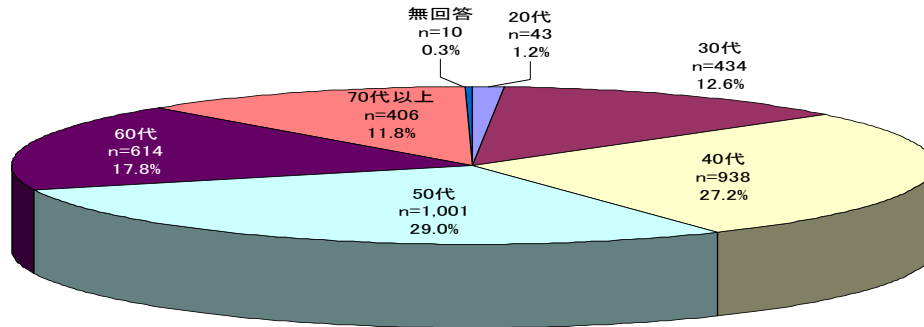
- ①調査対象 : 44都府県に登録している通訳案内士
- ②調査方法 : 郵送によるアンケートの配布・回収
- ③配布数 : 10,403通
- ④回収数 : 有効回答数 3,446通(有効回答回収率 33.1%)
- ⑤配布時期 : 平成20年2～3月
- ⑥回収時期 : 平成20年2～4月末日

3. 主な調査項目

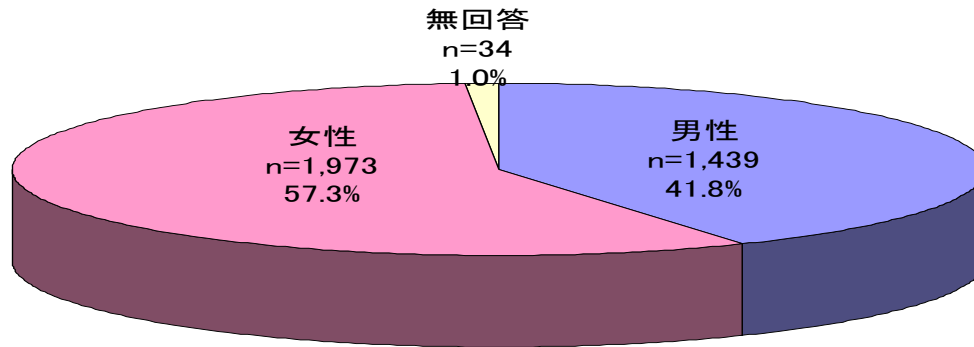
- ①通訳案内士の就業実態(専業、兼業、未就業の別)
- ②通訳案内士の稼働実態(年間稼働日数、通訳案内業による年収 等)
- ③訪日外国人客の動向(お客様の地域・国、お客様の多い時期 等)
- ④兼業者・未就業者の実態(兼業者・未就業者の本業・副業、未就業者の就業意思 等)
- ⑤業界団体への所属状況(所属の有無、所属団体 等)
- ⑥研修・自己研鑽(就業前・就業後研修参加経験 等)

有効回答者の属性(年齢、性別)

回答者の年齢は、50代が最も多く、ついで40代、60代。

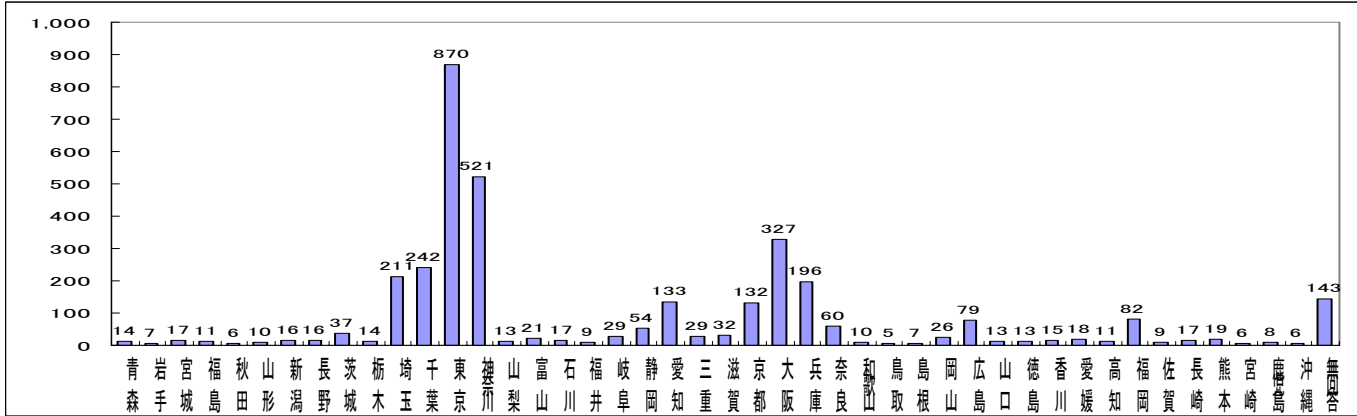


性別では、女性の方が多い。

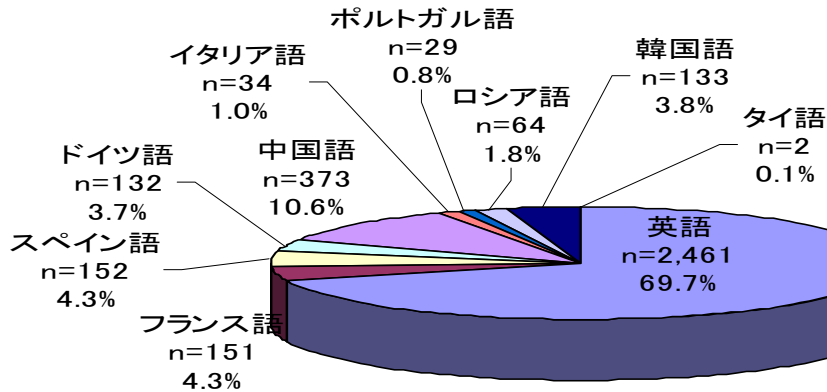


有効回答者の属性(都道府県、登録言語)

東京都が最も多く、ついで神奈川県、大阪府。関東地域で全体の約55%。

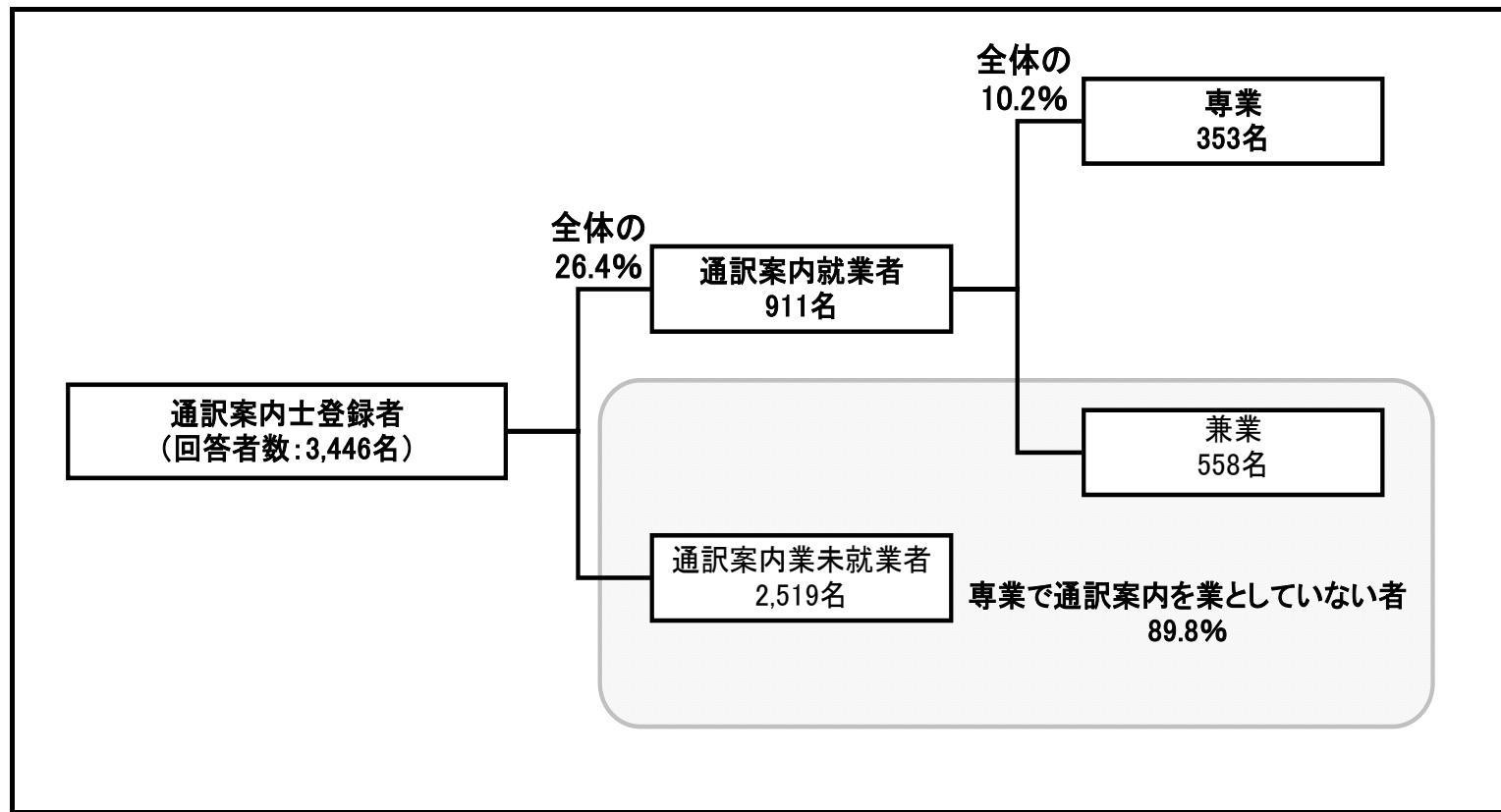


登録言語の割合は、英語が最も多く、ついで中国語、フランス語及びスペイン語。



通訳案内士登録者の就業実態の概観

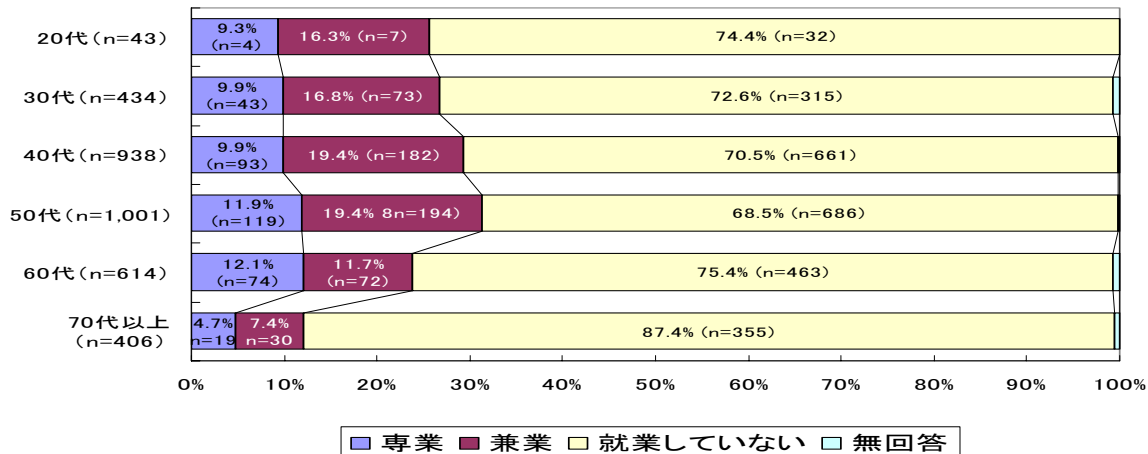
通訳案内士登録者のうち、実際に通訳案内業をしている者は、26.4%。うち、通訳案内業を専業としているのは、全体の10.2%。



通訳案内士の就業実態(年齢別、性別)

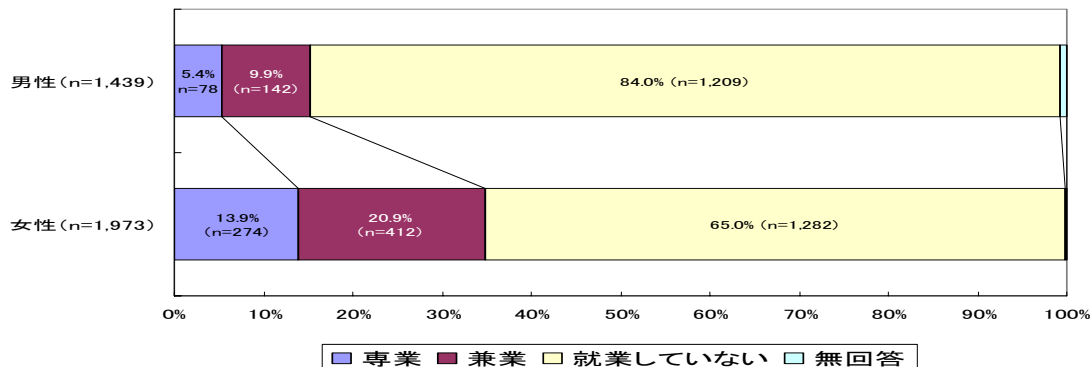
通訳案内士登録者のうち、通訳案内就業者(専業及び兼業)の割合が高いのは、50代。ついで40代、30代。

年齢別



男女別では、女性の方が就業割合は高い。

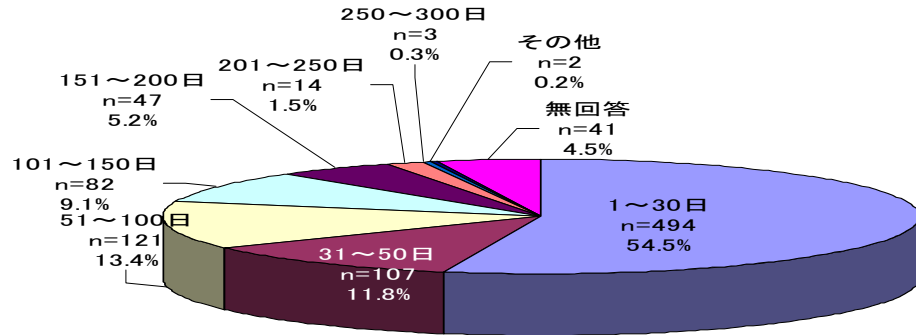
性別



通訳案内士の稼働実態(稼働日数、年収)

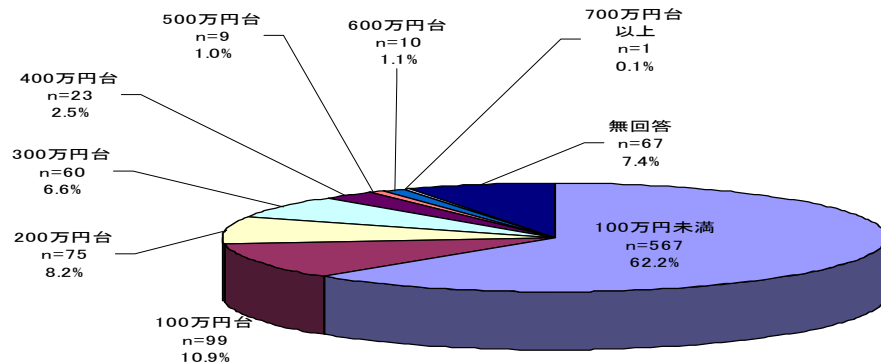
通訳案内就業者の54.5%が、年間稼働日数30日以下。

年間稼働日数



通訳案内業による年収は、全体の62.2%が100万円未満。

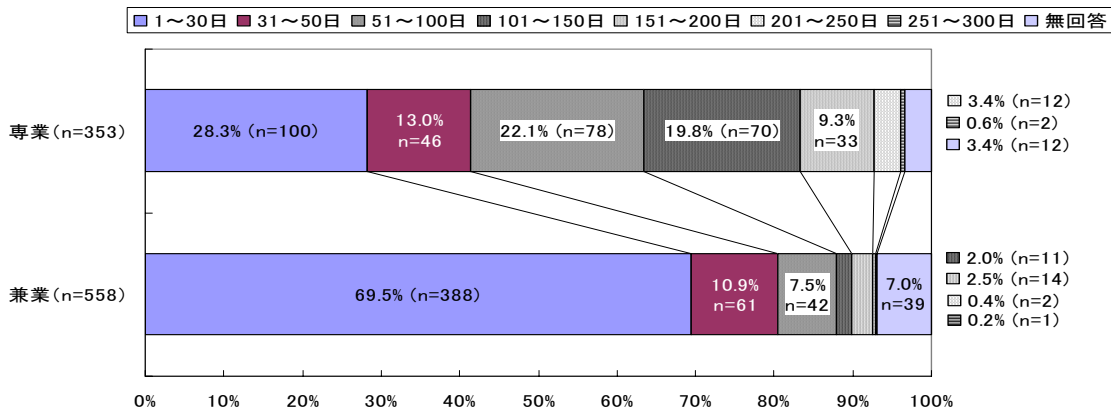
通訳案内業による年収



通訳案内士の稼働実態(専業、兼業別分析)

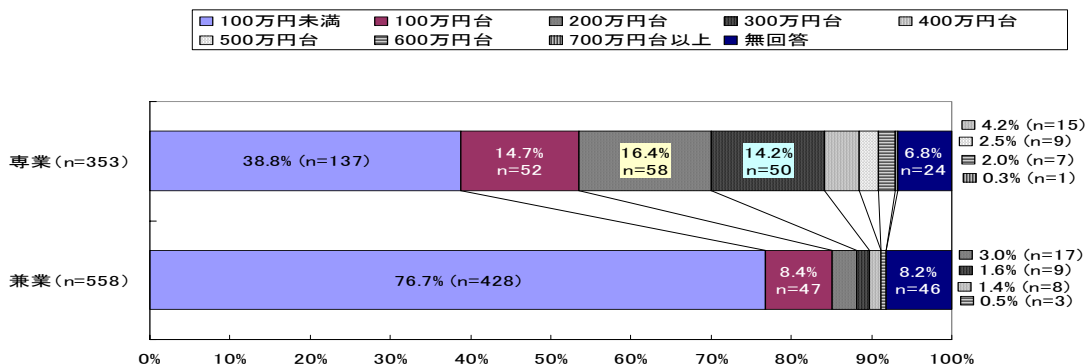
専業者においては、稼働日数101日以上が33.1%である一方で、30日以下が28.3%。

年間稼働日数
(専業・兼業別)



専業者においては、年収300万円以上が23.2%である一方で、100万円未満が38.8%。

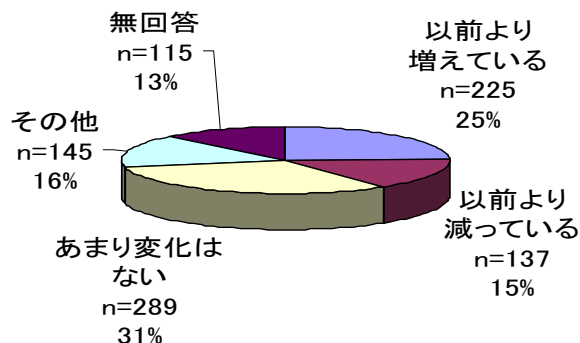
通訳案内業による年収
(専業・兼業別)



通訳案内士の稼働実態(傾向、仕事の取得方法)

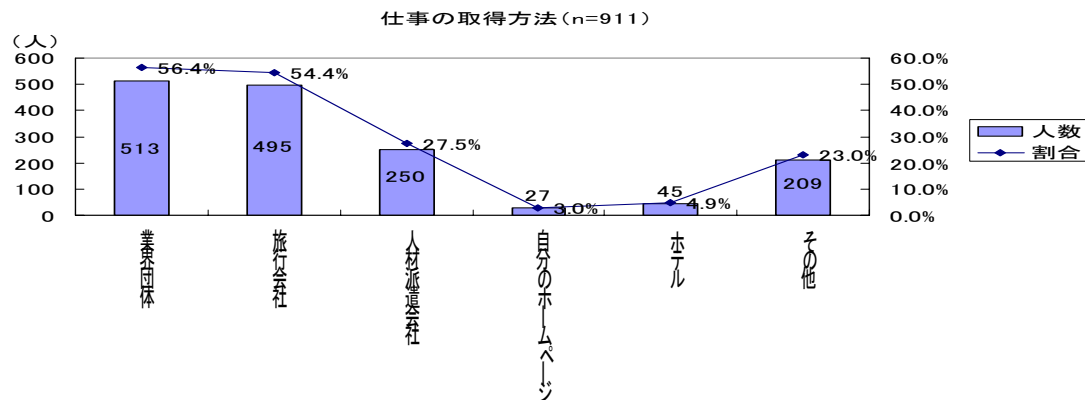
「以前より増えている」が「以前より減っている」を上回っている。

仕事量の傾向



仕事の取得方法は、ガイド団体と旅行会社が最も多く、自分のHPなど、個人的つながりによる依頼・紹介は比較的少ない。

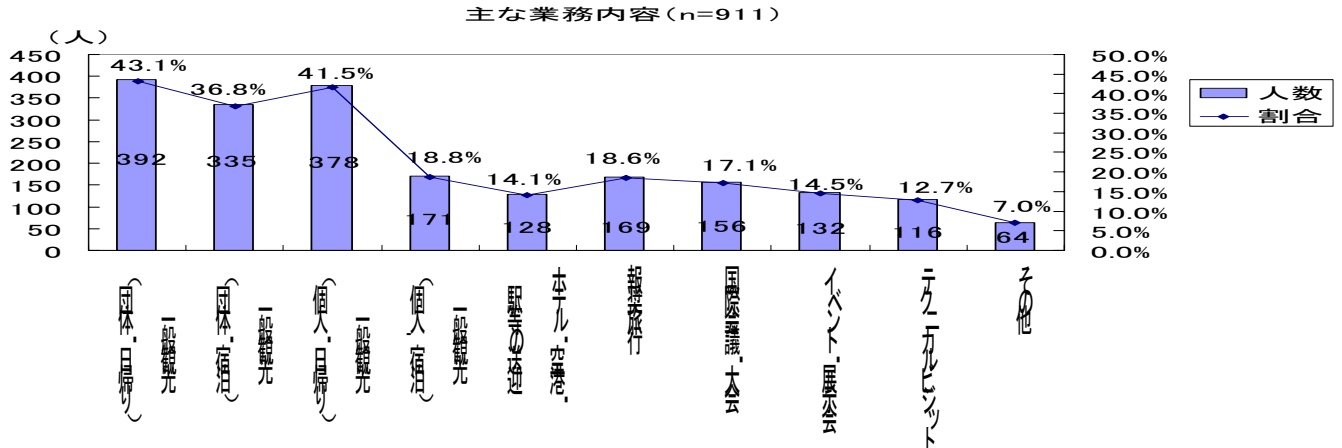
仕事の取得方法



通訳案内士の業務内容実態(業務内容、活動地域)

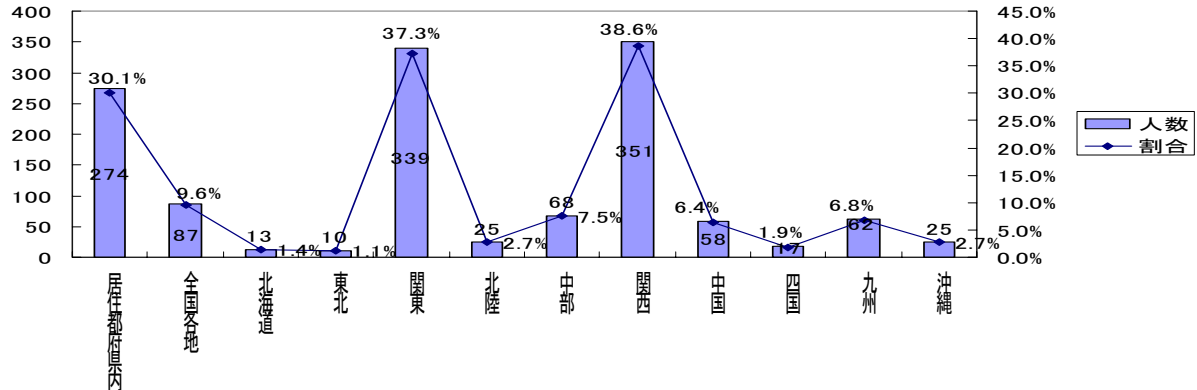
団体や個人の一般観光が多数を占める一方、報奨旅行(企業等による海外招待客への随行業務)や国際会議・大会等におけるプレ・ポストツアー等の案内業務も多く、幅広い業務内容となっている。

主な業務内容



活動地域としては、関東、関西が多い。また、約7割が居住都道府県外の仕事となっている。

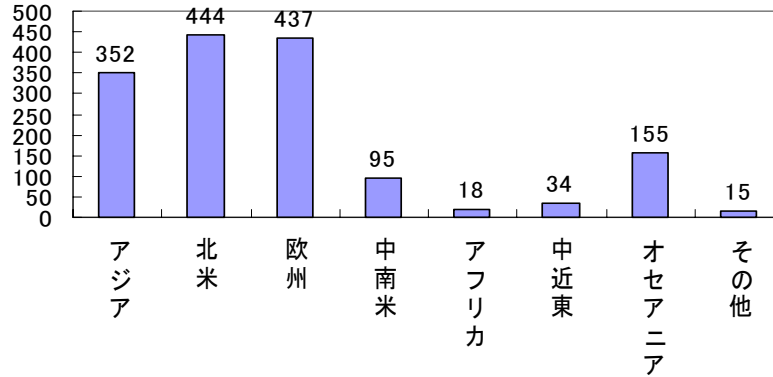
活動地域



通訳案内士の業務内容実態(顧客の地域、季節波動)

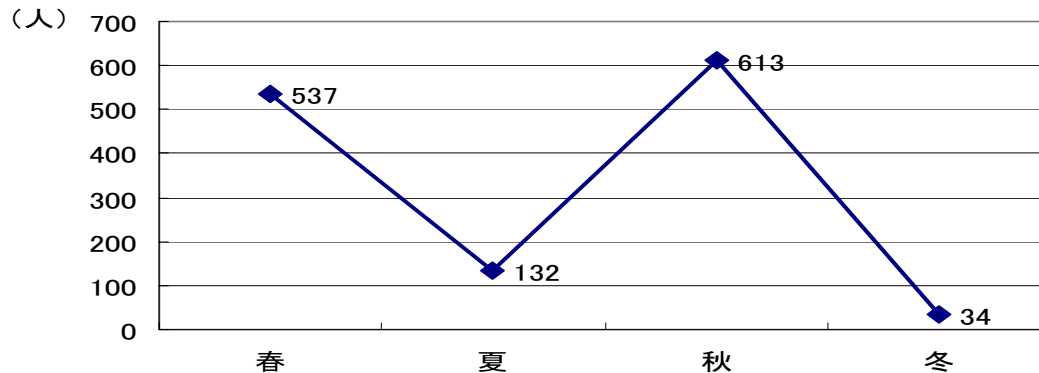
北米や欧州が多く、ついでアジア地域。

案内するお客様の多い地域



顧客の地域

季節的には、春と秋に集中する。



季節波動

通訳案内士の業務内容実態(案内する観光地・観光施設)

観光地としては、京都、東京、箱根などいわゆるゴールデンルートが多く、また、観光施設としては、金閣寺、皇居、清水寺など有名な寺社仏閣が上位を占めている。

案内する観光地

順位	観光地(n=2,201)	人数
1	京都	326
2	東京	237
3	箱根	187
4	浅草	184
5	奈良	131
6	日光	126
7	鎌倉	117
8	富士	83
9	広島	55
10	大阪	53
11	高山	47
12	宮島	47
13	秋葉原	35
14	銀座	34
15	お台場	33
16	金沢	33
17	白川郷	29
18	長崎	27
19	名古屋	18
20	築地	17

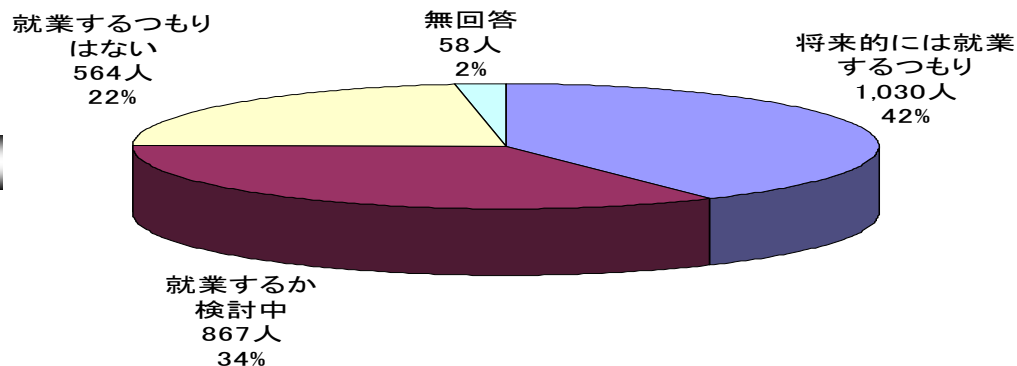
案内する観光施設

順位	観光施設(n=1,288)	人数
1	金閣寺	131
2	皇居	119
3	清水寺	112
4	明治神宮	105
5	二条城	83
6	寺社仏閣	65
7	東大寺	49
8	東京タワー	45
9	大阪城	44
10	浅草寺	35
11	平安神宮	26
12	三十三間堂	25
13	広島平和公園	23
14	竜安寺	22
14	春日大社	22
16	長崎原爆資料館	14
17	名古屋城	13
18	江戸東京博物館	12
19	熊本城	11
20	東京ディズニーリゾート	10
20	首里城	10

兼業者・未就業者の実態(未就業者の就業意思)

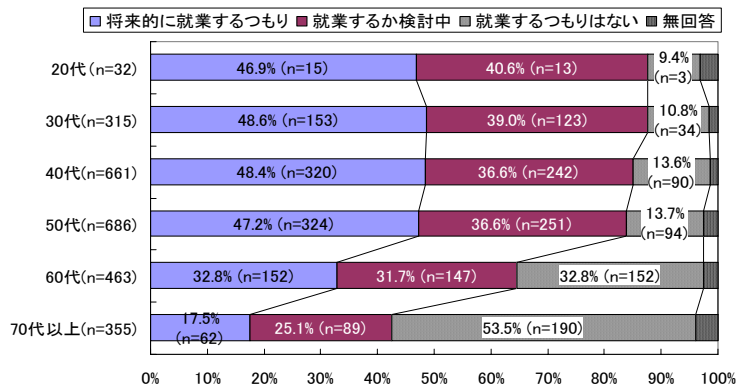
42%が将来通訳案内を業としたいと回答。

就業意思

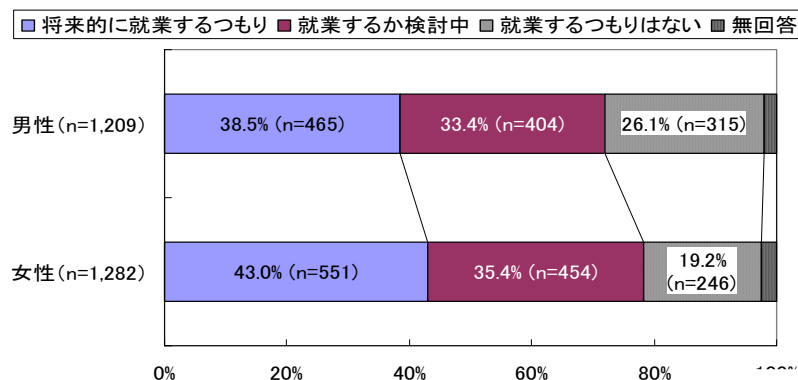


年齢別には、全体的に年齢が若いほど就業意思が高く、また、性別では女性の方が就業意思は高い。

年齢別



性別



兼業者・未就業者の実態(本業又は副業)

兼業者の本業(又は副業)としては、通訳・翻訳業が最も多く、ついで語学学校講師など、語学を活かしたものが中心となっている。

未就業者の本業としては、会社員(旅行業以外)、退職者、主婦などが多い。

兼業者

本業(副業)	人数
通訳・翻訳	146
語学学校講師、語学学校経営	107
会社員(旅行業以外)	72
教職員(中学、高校、大学、専門学校など)	64
自営業・会社役員	39
主婦・無職	33
観光関連業務従事者	19
団体職員	15
講師(語学以外)	14
アルバイト	5
研究職	4
学生	2
農業	1
ボランティア	1
医師	1
タクシー乗務員	1

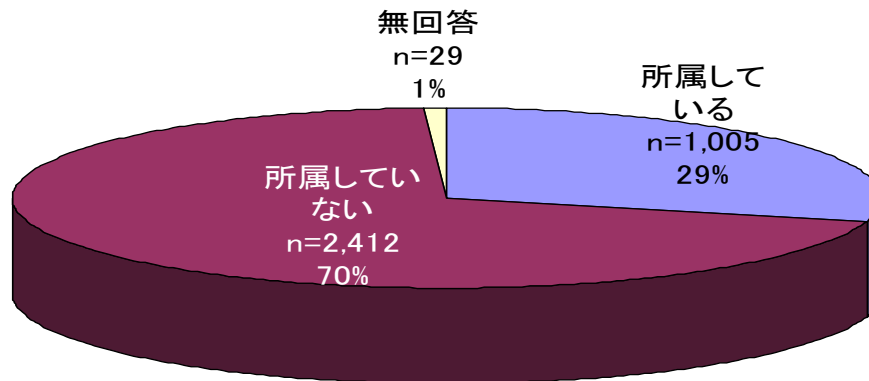
未就業者

本業	人数
会社員(旅行業以外)	543
退職者、主婦、無職	386
学校教職員(小・中・高・大学、専門学校)	306
通訳・翻訳	193
語学学校講師・経営	139
自営業・会社役員	138
公務員(国家・地方)	83
団体職員・役員	80
教育関係	54
観光関連従事者	27
医療関係	23
パート・アルバイト	15
学生	12
研究職	6
美術関係	4
農業	3
児童施設勤務	1
図書館司書	1
不定期業務に従事している	1

業界団体への所属状況

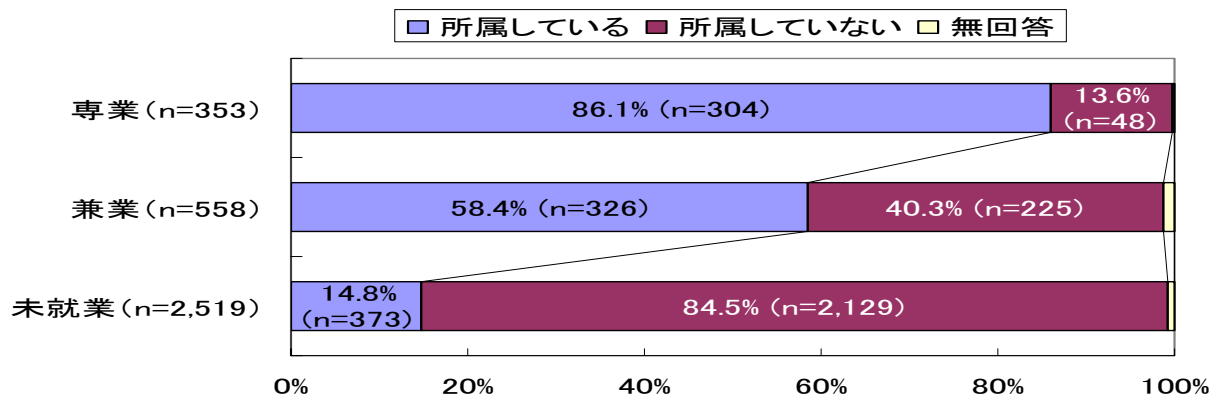
通訳案内士登録者のうち、業界団体に所属しているのは29%。

所属状況



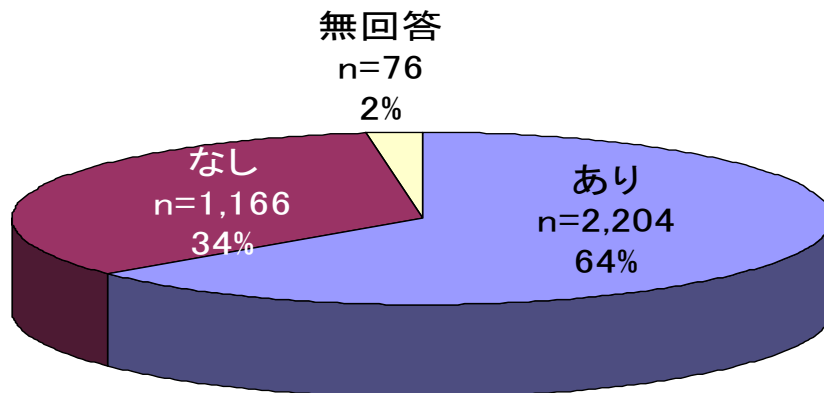
専門者の86.1%が所属。兼業者は58.4%。

専業・兼業別

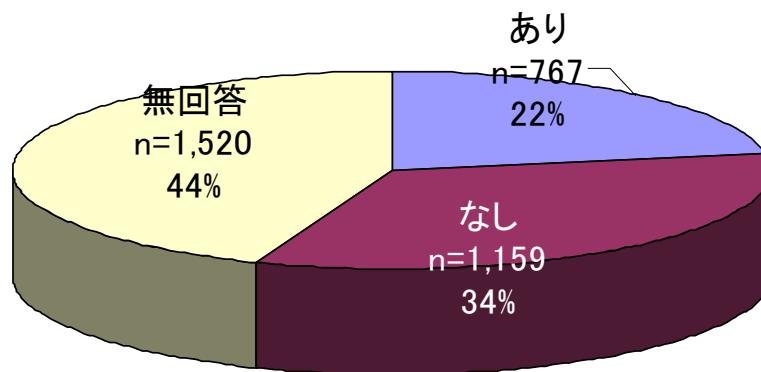


就業前研修(合格者研修)には、通訳案内士登録者の64%が参加。就業後の研修には、22%が参加。

就業前研修



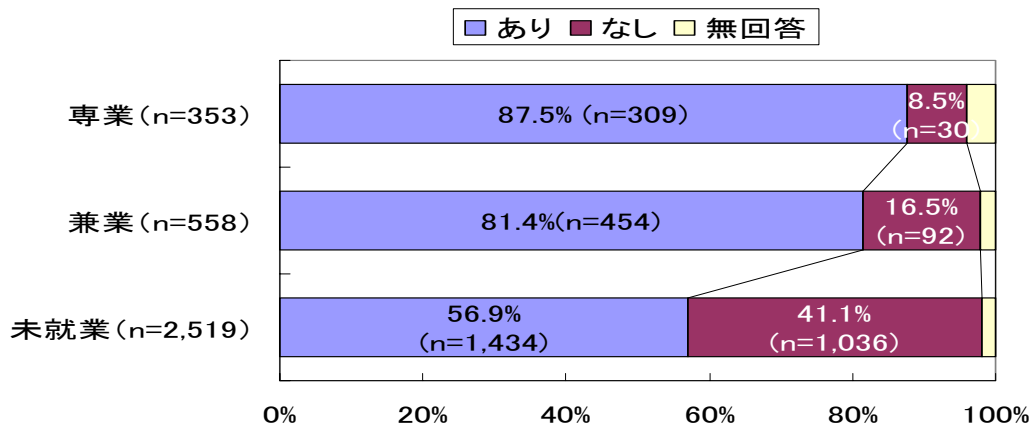
就業後の研修



研修・自己啓発(専業・兼業別分析)

就業前研修については、専業者の87.5%、兼業者の81.4%が参加。就業後の研修については、専業者の74.5%、兼業者の49.3%が参加。

就業前研修



就業後の研修

